

令和7年度（公財）福島市振興公社 自主事業

# 美術品からひもとく ”ふくしま”



五圓札(第六國立銀行・岩代福島)



ZEISS IKON Super Ikonta



西国三十三観音札所御軸

写真、クラシックカメラ、旧紙幣など…  
美術品を通して、“ふくしま”をひもといて  
ゆきます。

令和7年 5月9日(金)～30日(金)

午前9時～午後4時30分  
(最終入場 午後4時まで)

期間中  
休館なし

会場／福島市写真美術館 展示室1、2、3、4

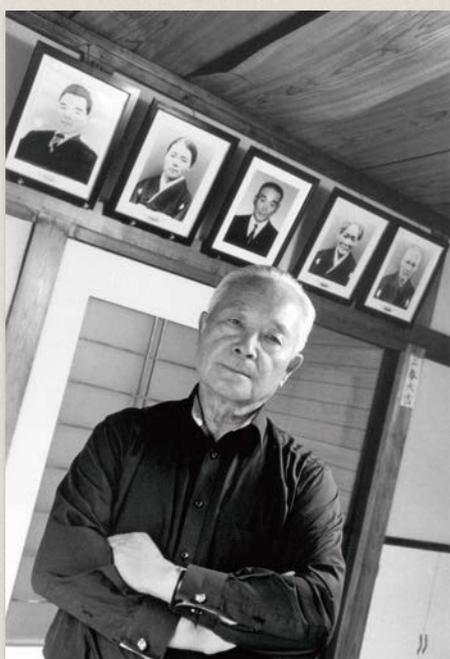
無料  
入場料

花の写真館  
Fukushima city  
museum of photography

〈ギャラリートーク〉

5月18日(日)・24日(土)  
13:30～14:30 (予定)

福島市文化団体連絡協議会会長である  
鳴原明寿氏などによる展示品の解説を行います。  
申込不要。当日ご来場ください。



撮影：大石芳野  
写真集「福島FUKUSHIMA 土と生きる」より

主催／福島市写真美術館(公益財団法人 福島市振興公社)  
後援／福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、テレビユー福島、ラジオ福島、FMポコ  
協賛／鳴原明寿、福島県写真連盟、有限会社ヒロヤ、おやま写真スタジオ

連絡先 福島市写真美術館(花の写真館)  
〒960-8002 福島県福島市森合町11番36号  
TEL 024(563)4990

# 展示内容

## 展示室1

創立より半世紀を超えた福島県写真連盟。今回は中央からご指導いただいた写真家の中から、創立50周年式典にご来席いただいた方々の作品を中心に展示し、その歴史を振り返ります。

## 展示室2

日々進化しているカメラとその歴史。デジタル時代の中で AI (人工知能) などによりカメラがどのような変化を遂げてゆくのか……今回はクラシック(フィルム)カメラを中心に展示します。

## 展示室3

観音霊場は西国が発祥の地とされ、現在もなお全国に多くの写し霊場が点在しています。時代の変革の中、現存する霊場の御軸を展示することで、その行方を辿っていきます。

## 展示室4

昨年、二十年ぶりに新紙幣が発行されました。世はまさにキャッシュレス時代となりつつあり、明治維新より始まった紙幣。

今後どのような変化を遂げてゆくのか……貨幣を含め、美術品としての視点でも見つめ直します。

## 協賛者／嶋原明寿 略歴

福島市文化団体連絡協議会会長、福島県芸術文化団体連合会副会長、福島県写真連盟顧問、ふくしま写遊会会長



福島市写真美術館（通称：花の写真館）



〒960-8002 福島県福島市森合町11番36号  
TEL 024(563)4990



### 公共交通機関をご利用の方は

- **路線バス** 【乗車場所】福島駅東口停留所(9番ポール)  
コース①:「市内循環ももりん2コース」乗車→「福高前」下車(約5分)  
コース②:「市内循環ももりん1コース」乗車→「福高前」下車(約17分)  
※上記から東へ約1分

### お車をご利用の方は

- 東北自動車飯坂インターから市街方面、国道13号を經由 約15分
- **花の写真館駐車場 13台** ※おもいやり駐車場含む
- **臨時駐車場**(保健福祉センター第2駐車場)

お車の駐車台数に限りがありますので、乗合せか公共交通機関のご利用にご協力ください。

- **MOMORINシェアサイクル**  
こちらをご利用ください。

詳しくは二次元コードを読み取ってホームページをご覧ください。

- **福島駅東口より徒歩 約15分**



### アクセスマップ

